

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力为上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2022年10月7日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	延岡市	代表者名	読谷山 洋司		
担当者部署	商工観光文化部	連絡先電話番号	0982-22-7035		
担当者役職	係長	担当者氏名	黒木 克幸	連絡先E-mail	
住所	882-0813 宮崎県延岡市東本小路2番地1				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	あまりよくない
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	2022年9月27日にオンラインセミナーを開催。延岡市コワーキングスペースを使用し、会場参加とオンライン参加に分かれて33名の方に参加いただいた。今回はDX推進において必要な視点や考え方を学ぶことを重点テーマとした。セミナーのなかで、本市内の企業に事前に実施したインタビューを元に、DX推進のためのヒントを講師から助言いただく計画にしていたが、時間の関係か、助言がなかった。また、参加者が、セミナーのなかでアウトプットを行い、それに対して講師が助言を行うこととしていたが、時間不足によりコメントが1部だけに留まった。
アドバイザーへの要望事項	3回目のセミナー開催までの間において、2回目のセミナー参加者に対し、特にアウトプットに対してコメントをもらえていない参加者に対するフォロー。また、事前のインタビューに協力してくれた企業へのフォロー。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2022年9月10日	講演	有	2022年8月25日	238
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	2022年9月27日	講演	15時30分	17時30分	0
				活動時間 (分)	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員、一般、企業、公的機関等	30 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	今回のセミナーでは、1回目のセミナーで認識したDXとは何か、地域においてDXを進める意義や進める為に押さえておくべき勘所が何かについて、実践に移すために必要な視点や考え方を学ぶことをテーマにした。全国や市内の事例をつうじて、DX推進に向けたステップアップを図る必要があった。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	参加者が身近なところでDXを推進するために、必要な着眼点、考え方を見につける、またはほんやりと捉えた状態にまで学びを進めること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進事例や本市における進め方について講演していただいた。セミナーの前半では、DX推進のために必要な視点、課題抽出について案内していただき、参加者はそれを元にアウトプットを行った。アウトプットに対して講師からコメントをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	実際にDXを進める上で必要な視点等について、新しい気づきを得た参加者もいた様子。	

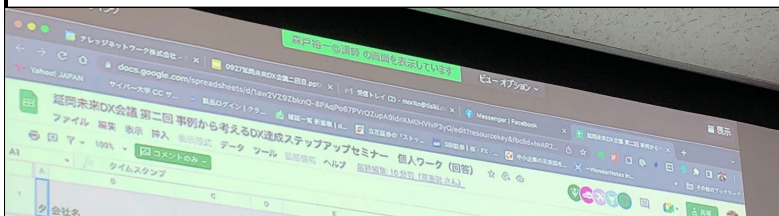
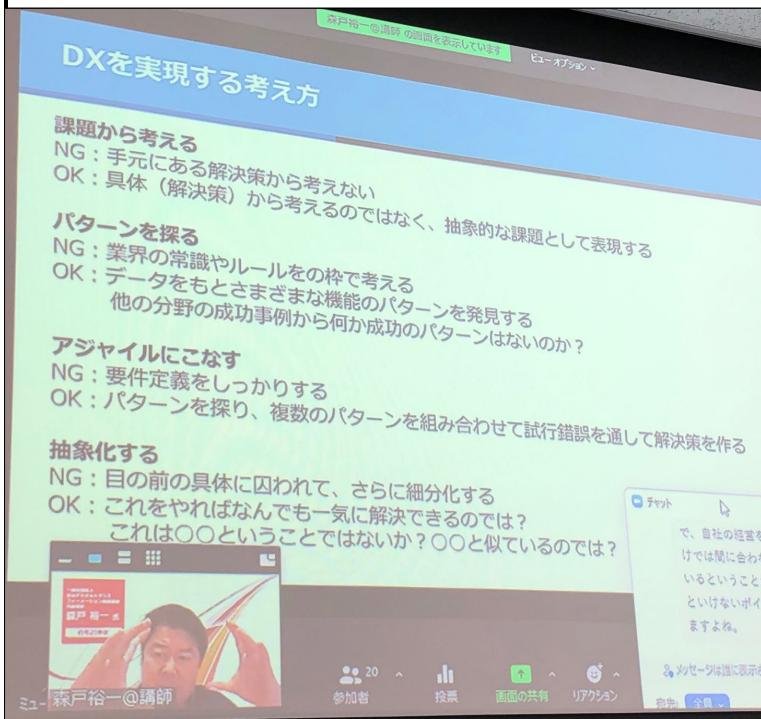
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	セミナーの中心である事例紹介や、参加者のアウトプットに対する講師からのコメントが十分に行われなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	派遣依頼で申告したとおり、ITリテラシー向上やDX推進といった共通のテーマを持つ、ワーキンググループ等有機的なつながりやコミュニティが発生している状態を目指す。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



氏名	現在の事業内容 (できるだけ参加者向け具体的にお願いします)	1.これから「何業」として「誰」に「どんな価値」を提供していくのか?	2.現在の会社が顧客や社員から集める価値はなんですか?	3.10年後も必要ですか?と現状をくらべて今後の課題はなんですか?	4.上記を踏まえて新しい価値提供はありますか?
20 延岡市役所	高木 一秀 官公庁 市外の企業を基調に誘致 し、進出からの事業性を サポート 既存の企業の事業支援 (四 コワー4体、分科会)	インフラ業 町向きに生きていくことが できるとも作り続ける 展開に対して、個人として 若くは会社として 企業としてビジネスで働く 人や取引先がある。公益性 会社員 (協賛) ・実務屋 (2 20%) として中心企業や創 業者層者に金融支援や情報 提供	社会の成長または今後進む べき領域を民間のみに任せ たりするリスクの多さや意識 な開拓をするための中核的 な役割をするための役割 なものを提供する ・事業の価値 ・情報提供 の両面から取り組みを知る ・ニーズを知る ・事業性法を取り組みを知る ・ニーズを知る	社会的に必要なら一度は必要に 30歳までの人手不足はありま す 日本企業での効果はありま すか	
20 日本政策金融公庫	川内 康司 コワー4金融機関の職員業務	「情報局」として「企業」 に「社会課題解決のための データ」の提供	行政としての安心、信頼 正確な情報	個人の利用を促進しないか ?企業に求められるデータ をどのように作るのか、	
20 延岡市役所	柴田 一仁 林業 (資源林専門) 水を保った山のほげ山を 整備して山に水を涵入50 コワー4年管理する仕事です	山梨として 全ての山々には山の環境 (土壌、空気、水、自 身の個性を ・住空間、生活環境の情報	顧客から付加価値を企業 社員から提供できず、前 身の閉鎖性、利益分配、社 会保険	社会的に必要なら一度は必要に 30歳までの人手不足はありま す 日本企業での効果はありま すか	
20	松田 剛	コワー4年管理する仕事です			

森戸裕一@講師 から全員
承認いたしました。

Sanmiya から全員
ありがとうございます!